

日本で開催されたラグビーワールドカップは、南アフリカがイングランドと激戦の末に勝利を収め、1カ月半に及ぶ大会が終りました。この大会で一番の関心事は、日本代表が決勝トーナメントに進出し、一つでも勝って、優勝争いの一角へ食い込んでほしいということです。しかし、さすがに強豪チームぞろいで、ベスト8で終わってしまいました。

ただ、それでも、選手の皆さんは本当に死力を尽くして戦ったと思います、エールを送りました。

ラグビーといえばイギリスを中心に、関係の深い国が盛んです。遠く離れた日本では、あまりなじみがなかったのですが、この大会で一気に盛り上がったように感じます。

私とラグビーの出合いは、今から60年くらい前の中学校時代だったよ

ラグビーの思い出

うに思います。冬、雪が降ると体育の若い先生が「きょうはラグビーをやるぞ、校庭に集まれ」と言い、ゴムでできた楕円形のボールを持参して、プレーを始めたものでした。

当時、男子は1クラス25人以上で、2クラス合わせると50人を超える授業でした。

ルールは、ボールを前に投げたら反則で、スクラムを

点差

こうさてん

組むことでした。雪の上なので走りにくく、タックルしてもけがをしませんでした。1時間の授業が終わると全身びしょぬれでしたが、爽やかさが残り、風邪もひかず、楽しかったです。懐かしい思い出がよみがえりました。いつかまた日本でワールドカップを開催してほしいと思います。

(安曇野市穂高、荻原義重、75歳)